

# 景況レポート 6月

## 6月の県内景況は、「収益状況」など5項目のDI値が改善。前月に比べ景況が好転した業種が多いが依然として厳しい状況にある。

情報連絡員による平成29年6月の県内中小企業の景況は、業界全体として「好況」は14.3%（前月比+4.0）となっており、「横這い」は41.1%（同+1.4）、「低調」とするところが44.6%（同-5.4）、業界全体の「景況感DI」は39.7%（同+9.3）となっています。

### 1. 全産業の項目別前年同月比DI値の動き

◇「在庫数量」、「販売価格」、「取引条件」、「収益状況」、「資金繰り」の5項目が前月と比較して好転しています。

### 2. 業種別の「業界の景況」

◇前年同月と比較して、「快晴」または「晴れ」の業界はなく、食料品製造業、木材木製品製造業、鉄工機械製造業、卸売業、建設業が「曇り」または「薄曇」、その他の業種は「大雨」または「雨」となっています。

◇来月の見通しは、好転、やや好転の見込みとの回答が、23.2%（前月比+6.0）と増加しております（好転の回答1件、やや好転の回答12件）（製造業5、非製造業8）。一方、変わらないが、55.4%（前月比-6.7）と減少しております。やや悪化、悪化の見込みは、21.4%（前月比+0.7）と増加しております。

平成29年6月の景況について、情報連絡員からの報告は以下のとおりです。（回収率93.3%）

項目別DI 業種区分	売上高		販売価格		収益状況		資金繰り		雇用人員		業界の景況	
	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比
食料品製造	-28.57	-28.57	0.00	0.00	-14.29	-14.29	-28.57	-28.57	-14.29	-14.29	-14.29	-28.57
繊維製品製造	0.00	-66.67	-33.33	-33.33	-33.33	-66.67	-33.33	-33.33	0.00	-33.33	-33.33	-66.67
木材木製品製造	-25.00	-25.00	-25.00	-25.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	25.00	-25.00	-25.00
鉄工機械製造	-25.00	-25.00	0.00	-25.00	-25.00	-25.00	-25.00	-25.00	0.00	-25.00	0.00	-25.00
その他の製造	14.29	-42.86	0.00	0.00	-42.86	-42.86	0.00	0.00	-14.29	0.00	-28.57	-42.86
卸売業	0.00	25.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-25.00	-25.00	-25.00	-25.00	-25.00	0.00
小売業	-22.22	-11.11	-22.22	33.33	-11.11	-11.11	-44.44	-11.11	-22.22	-22.22	-33.33	-44.44
商店街	-40.00	-60.00	0.00	0.00	-40.00	-40.00	-40.00	-40.00	0.00	0.00	-60.00	-40.00
サービス業	-20.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-20.00	-20.00	-20.00	-20.00	-40.00	-40.00
建設業	0.00	-20.00	0.00	-20.00	-20.00	-20.00	0.00	-20.00	-20.00	-20.00	-20.00	-20.00
運輸業	33.33	-66.67	0.00	0.00	-33.33	-33.33	0.00	-33.33	-33.33	-66.67	-33.33	-100.00

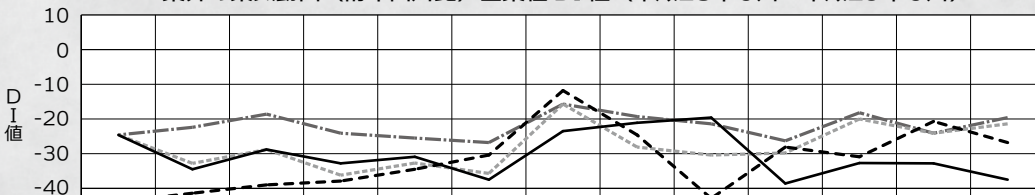
### 天気図の見方

各景況項目について「増加」（または「好転」）業種割合から「減少」（または「悪化」）業種割合を差し引いた値（D・I値）をもとに作成。その基準は下表のとおりである。

### D・I値基準値

- 快晴 30以上
- はれ 10~30未満
- うすぐもり -10~10未満
- くもり -30~-10未満
- 雨 -50~-30未満
- 大雨 -50未満

業界の景気動向（前年同月比）全業種DI値（平成28年6月~平成29年6月）



	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	平成29年4月	平成29年5月	平成29年6月
業界の景況	-24.6	-34.5	-28.8	-32.8	-30.9	-37.5	-23.5	-21.1	-19.6	-38.6	-32.7	-32.8	-37.5
売上高	-43.9	-41.4	-39.0	-37.9	-34.5	-30.4	-11.8	-24.6	-42.9	-28.1	-30.9	-20.7	-26.8
収益状況	-24.6	-32.8	-28.8	-36.2	-32.7	-35.7	-15.7	-28.1	-30.4	-29.8	-20.0	-24.1	-21.4
資金繰り	-24.6	-22.4	-18.6	-24.1	-25.5	-26.8	-15.7	-19.3	-21.4	-26.3	-18.2	-24.1	-19.6

## 食料品製造業

### <漬物>

業界全体で輸入物、国産物含め、原料の確保が厳しくなっている。中国も公害問題で工場の運営が厳しくなってきた。国内も農家の高齢化により原料の確保が厳しい。

### <味噌醤油>

相変わらず味噌・醤油の出荷量は減少が続いている状況。お中元の贈答用も昨年と比較して、それほど動きは感じられない。7月中旬以降の動きに期待したい。海外依存の醤油原料小麦の大幅な高騰が、製造コストアップとなり、出荷数量の伸び悩みも含め厳しい状況が懸念される。

### <菓子>

閑散期に入り、厳しい運営が続いている。例年も同じだが、暑さとの闘いが続く。お盆需要が始まるまで厳しい状況である。

### <酒造>

久しぶりに吟醸、純米が前年比100%を超えた。夏に向けて、爽やか系の純米酒が伸びる季節となるのでこのまま順調に伸びて欲しい。一方、EUにおいてお酒の関税を撤廃するとのニュースが流れてきた。輸出先は欧州が伸びると思われる。

### <食品団地>

今月は天候不順や気温の変動も大きく生産管理が難しかった。消費者ニーズが多様化する中で持続的な商品づくりが重要となってくる。今後も経済環境の変化や原油価格の変動等、収益に影響が出てくる見通しで難しい状況が続いている。

## 木材・木製品製造業

### <製材業>

6月は晴天が続き、丸太の出材量は例年に比べ多かったが、下旬からは徐々に減り始め、夏場にかけては増える見込みはない。一方、製品需要は首都圏向けの出荷が堅調に推移しているが、県内の新築需要は大手住宅メーカーに偏り、やや停滞気味で地元市場から工務店への荷動きは鈍い。

### <外材輸入>

梅雨時期でもあり製材品の荷動きは低調。各工場の稼働率も低迷している。

## 紙・紙加工品

### <紙器・段ボール箱>

景気の不透明感により、受注の不安定、人手不足、人件費の上昇などといった問題が山積する中、各企業との経営改善を進め、この難局を乗り切る努力をしている現況にある。

## 印刷

### <印刷業>

夏場になると、例年需要が減少し、さらには競争激化により各社とも稼働状況は縮小傾向である。

## 窯業・土石製品製造業

### <碎石>

(県北地区)

- |            |       |       |
|------------|-------|-------|
| 1. 当月売上数量  | 前月比   | 約26%増 |
| 2. "       | 昨年同月比 | 約15%減 |
| 3. 本年度売上数量 | 昨年対比  | 約21%減 |
| 4. 原因・現状   |       |       |

西道路関連の工事が始まり、一部区間に納入したが、全般的に注文が少なかった。

### <生コン>

平成29年6月の組合員生コン出荷数量は、162,577m<sup>3</sup>と対前年同月比+1.8%。出荷数量の内訳は、民需が対前年同月比-8.0%、官公需が+7.4%であった。

#### ○民需の動向

対前年同月比 -8.0%

#### 対前年同月比増加地区

いわき地区：+29.7% ショッピングモール新設工事、スパリゾートハワイアンズ施設工事等

会津地区：+2.0% マンション、ダストセンター事務所建設工事等

#### 対前年同月比減少地区

県北地区：-32.9% 市内病院新築工事等

県中地区：-19.0% 市内病院治療センター増築工事等

白河地区：-17.3% 太陽光発電所建設工事等

相双地区：-2.7% 第一原発固体廃棄物貯蔵庫建設工事等

#### ○官公需の動向

対前年同月比 +7.4%

#### 対前年同月比増加地区

県北地区：+42.6% 福島市体育館新築工事、東北中央自動車道桑折高架橋工事等

白河地区：+0.1% 古殿町体育館建設工事等

いわき地区：+11.8% 港湾災害復旧、市内共立病院新築工事等

会津地区：+77.5% 河東学園建設工事、喜多方葬祭場建設工事等

#### 対前年同月比減少地区

県中地区：-27.6% 郡山市西田学園、須賀川市民交流センター建設工事等

相双地区：-11.5% 福島再生賃貸住宅整備工事、県立ふたば医療センター建設工事等

### <各種プラント機器>

当組合のプラント設備関連業界は、先月からの集中修工事が一段落したため、売上高が前月比で30%と大幅な減少に転じた。前年同月比では39%と低調な値となり、前年累計比でも62%と、先月に続き先行きに不安感含みの状態である。

### <漆器>

個人消費は低迷したままで、物を購入する動きが弱い。輸出関係の商談が少しずつ増えてきたのがせめてもの救いである。

## 卸 売 業

### <卸売業>

復興需要がピークを過ぎたとの観測がある中、卸売業（特に建築資材）においても影響が見られ始めている。特に地域間の格差が見受けられる。中通り地域は、以前のような勢いがなくなりつつあるが、浜通りにおいては引き続き活況を呈しているようだ。卸先である建築業者が、いわき地区に進出しようとしても宿泊施設が確保できず受注を諦めざるを得ない、との声も聞かれている。その他の卸売業者においては、特段の変化は見受けられない。このうち、特殊専門品（例えば、精密機械卸）などは、比較的顕著に推移している。

### <再生資源>

古紙、鉄スクラップは前月に続き好調を維持。特に古紙については需要増を受け、一部のメーカーの建値の上昇により、市況が動き市中価格（仕入価）が上昇した。

### <米麦事業>

当組合の販売品目は米穀のみなので、平成28年秋に収穫した米穀を主に秋から初夏にかけて販売している。このため、夏から秋の米穀の収穫時期までは販売数量が激減する。なお、米穀の販売単価は昨年より上り、売上高は増えた。

## 小 売 業

### <共同店舗>

(Oショッピングセンター)

6月は、飲食店が、好調で、物販の下支えとなった。物販は厳しい状況が続いている。次月は、会社の賞与・お中元・帰省客等の人とお金の動きに期待したい。

### <石油>

元売りの仕切価格が若干値下がりとなった。これにより、小売価格も値下がりとなっている。元売りの合併等による仕切の動向等に注視する必要がある。

### <水産物>

売れ筋のマグロ、イカが相変わらず高い。カツオは安くなっても「アニサキス食中毒猛威」の報道により販売に影響が出ている。

### <青果>

野菜単価がやや落ち着いてきたが、全体的に動きが悪い。家庭菜園の収穫においては全体的に日照不足の影響からか生育が遅れている。今年も規格外野菜の人気の高い。

### <家電>

各地での合展、個展で高額のエアコンの動きが良くなってきている。猛暑がくれば今以上に活気が出ると思われる。

## 商 店 街

### <福島市>

5月中旬～6月中旬にかけて、例年に増して、人の動きの無さが目立った時期となってしまった。

### <郡山市>

今月は大きなイベントもなく、やや低調気味であつ

た。催事の影響は大きいと感じる。

### <南相馬市>

商店街全体のイベントもなく、唯一、栄町名物「ナイトばぎーる」の日は賑わいを見せている。いよいよ7月21日より5割増プレミアム商品券が販売される。商業界全体の活性化に結びつくものと考えられる。

### <いわき市>

梅雨入りも遅く、天候は安定していたと感じられるが、売上には結びつかない。来街者も少なく、飲食店も平日は厳しいという声が出てきている。特にミセスのファッション関連が苦戦を強いられている。7月のセールが好調に動いてくれるといいのだが。

## サービス業

### <旅館業>

(土湯温泉)

夏休み前の狭間の月でもあるが、宿泊・日帰りとも昨年度に比べ低調な景況感がある。インバウンド対策を昨年度から展開してきたが、5月から従業員を対象とした英語研修会を始めた。リピーター対策として福島県の補助金を受けながら、今までの土湯温泉の観光資源を活用し、また来てみたい、宿泊してみたいと思わせる宿泊企画づくりを今年度中に延べ400名を対象に募集して実施する予定。今までの紙媒体広告からWEB広告媒体への戦略に切り替えていく。

### <美容業>

消費者心理が悪化した影響で消費が例年ほどではなかった。そのために美容室は二極化が進んだようで、お客様自身がより納得できる物（技術・商品等）に向かった模様である。引き続き、望まれるサービスを提供するようサービスの在り方を探っていきたい。

### <理容業>

梅雨入りしても雨が少なく暑い日が多かったため、夏向きのヘアーにする人が多く忙しかった。早めに夏メニューを提案したのもよかったと思う。積極的に努力しているサロンは成果を上げているので今後も季節感を出すメニュー開発や営業支援を組合をあげて行っていきたい。

## 建 設 業

### <建設業>

(県南地区)

除染業務が無くなり、通常工事が建築・土木ともに減少しているため、急激に景況が悪化している。県工事は低価格入札となるケースが増えている。

### <管工事>

前月比で、給水・排水設備申請とも増加。前年同月累計対比では、給水設備申請が減少し、排水設備申請は増加している。

### <専門工事>

復興関連事業も一通り収まりを見せる中、公共事業の入札条件が一般競争入札になる等、素人目には一見良さそうに見える悪癖が首をもたげてきている。安い公共事業には見向きもせず、除染や復興事業等の利鞘を大きく得ていた企業を、なぜ今更優遇する様な方策

を打つのか理解に苦しむ。彼らは自ら選んで公共事業を請けなかったのだから、今更仕事を取りづらいと言う泣き言に耳を傾ける必要はないのではないだろうか？結局、苦しむのは現場。勝手に安値で受注しておきながら、真面目に仕事をしている専門工事業者に予算がないと言う屁理屈で支払金額を抑えられる筋合いは本来はないはずである。職人は適正な仕事をしているのだから適正な支払いを受ける権利がある。毎日の生活がぎりぎりになると改善する為のお金も時間も取れなくなる。完全な負のスパイラルに陥ってしまう前に状況を打破する行動を始めないと、いざ直面した時に何ともできないのではないかと懸念が強くなっている。

## 運 輸 業

### <トラック団地>

(県北地区)

平成29年4月からの高速道路規制強化による罰則は、累積点数により組合会員全体へ影響するため組合内の罰則も厳しく改正した。

### <ハイヤータクシー>

売上が前月に比べ微増となったものの、引き続き低調である。